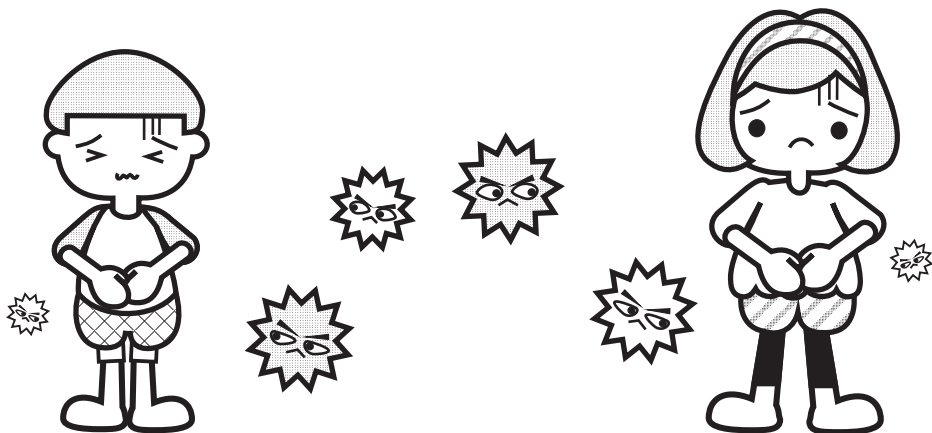


キッズシリーズ⑥

感染性胃腸炎



★感染性胃腸炎とは？★

主にウイルスなどの微生物を原因とする胃腸炎の総称です。

これらの胃腸炎は、症状のある期間が比較的短く、特別な治療法がないことからウイルス検査を行わず、流行状況や症状から「感染性胃腸炎」と診断されることもあります。

原因となるウイルス

「ノロウイルス」
「ロタウイルス」
「サポウイルス」
「アデノウイルス」など

「ロタウイルス」、「アデノウイルス」による胃腸炎は、乳幼児に多くみられます。

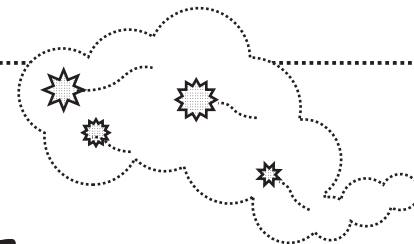
宣 言
明るい笑顔
すぐ返事
伝える元気

かちどき薬品 ホームページ
げんき君 健康に関する情報がいっぱい
<http://www.genki1616.co.jp>

かちどき薬品グループ

感染経路

ウイルスが人の手などを介して、口から入り感染します。便や嘔吐物から空気中に舞い上がったウイルスにより感染する場合があります。



ノロウイルス

子供から大人まで年齢を問わず、発病します。

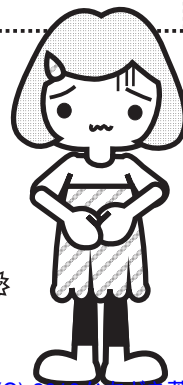
秋から冬にかけて流行る感染性胃腸炎です。ヒトからヒトへの感染と、汚染した食品を介して起こる食中毒に分けられます。感染力が非常に強く、ごく少量のウイルスでも体内に入ることによって感染します。特に乳幼児や高齢者の方は、症状が重くなる場合があります。

ノロウイルスに多い感染経路

- ①感染した人の便や嘔吐物に触れた手指を介してノロウイルスが口に入った場合。
- ②便や嘔吐物が乾燥して、細かなチリと舞い上がり、そのチリと一緒にウイルスを体内に取り込んだ場合。
- ③感染した人が十分に手を洗わず調理した食品を食べた場合。
- ④ノロウイルスに汚染された食品(特に加熱不十分なカキなどの二枚貝や加工食品)、飲料水を口にした場合。

<症状>

1～3日の潜伏期間を経て、激しい下痢、嘔吐、発熱がみられます(症状の程度には個人差があります)。症状が続く期間は1～2日と短期間です。下痢は水様白色便になります。



- 2 -

ロタウイルス

生後6ヶ月～就学前の幼児。
特に生後6ヶ月～2歳くらいの
小さなお子さんが多くかかります。

1月～4月に流行る感染性胃腸炎です。激しい下痢、嘔吐を繰り返し、赤ちゃんは脱水で入院するほど、重症になることがあります。

<症状>

1～3日の潜伏期間を経て、激しい下痢、嘔吐、発熱がみられます(症状の程度には個人差があります)。発熱は2日ほどで治ります。下痢はお米のとぎ汁のような白色からクリーム色の便で、少し酸っぱい匂いがします(必ず白色便になるわけではありません)。下痢は2～3日目をピークに1週間以上続きます。



…お家でのケア方法…

脱水症状を防ぐために、こまめに経口補水液を与え、水分補給に努めましょう。乳幼児の汚物交換は手袋を使用し、手洗いを徹底しましょう。オムツが外れていないお子さんは、下痢でのオムツかぶれを起こしやすいので、こまめにオムツ交換をしましょう。

- 3 -

感染性胃腸炎の治療

ウイルスを原因とする感染性胃腸炎への特別な治療法はなく、つらい症状を軽減するための処置(対症療法)が行われます。



乳幼児や高齢者の方は、下痢等による脱水症状が生じることがありますので、早めに医療機関に受診することが大切です。

嘔吐の症状が治まったら、少しずつ水分を補給し、安静に努め、回復期には消化しやすい食事をとるように心がけましょう。

乳幼児には、イオン・糖分が適度に含まれる乳幼児用イオン飲料がおすすです。

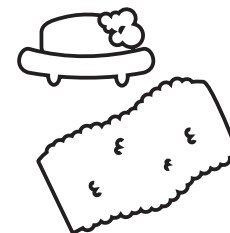
予防のポイント

- ①一番大切なのは手洗いです。
特に排便後、また調理や食事の前にも石けんと流水で十分に手を洗いましょう。
- ②便や嘔吐物を処理するときには、使い捨て手袋、マスク、エプロンを着用し、処理後は石けんと流水で十分に手を洗いましょう。
- ③カキなどの二枚貝を調理するときには、中心部まで十分に加熱しましょう。
(中心温度85℃で1分以上の加熱が必要です)

家族が感染したら

1.手洗いが大事!

- 外出後、トイレに行った後、調理や食事の前、嘔吐物・便を処理した後は、必ず手を洗う。
- 石けんを使い十分にこすり洗いし、水で洗い流す。
→こすり洗いは30秒を目安に。
これにより、ウイルスは大幅に減少します。
- 手洗いに使用するタオルは共用しない。
→個人ごとに分ける
→ペーパータオルを使用



手洗い前のチェックポイント

- ・爪は短く切っていますか?
- ・時計や指輪を外していますか?

汚れが残りやすいところ

- ・指先や爪の間
- ・指の間
- ・親指の周り
- ・手首
- ・手のしわ



2.汚物が衣類についてしまったら

①衣類をビニール袋等に入れ、周囲を汚染しないようにする。

②85℃で1分以上、熱湯消毒するか、塩素系消毒液(0.02%次亜塩素酸ナトリウム)に30~60分間浸す。

③消毒後、他のものと分けて最後に洗濯。

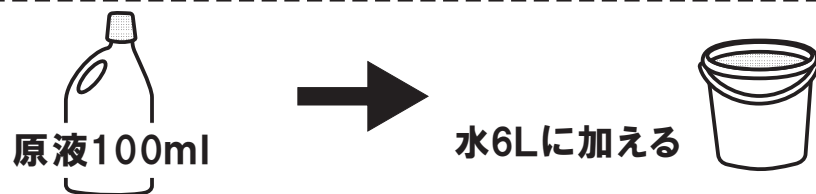


次亜塩素酸ナトリウム希釈液の作り方(原液濃度6%の場合)

0.02%次亜塩素酸ナトリウム(用途:衣類、調理器具の消毒)



0.1%次亜塩素酸ナトリウム(用途:嘔吐物、便の処理)



次亜塩素酸ナトリウムは塩素系漂白剤の成分です。消毒をする際、塩素ガスが発生することがあるので、使用時は十分に換気してください。一般的な市販品の原液濃度は5~6%ですが、製品の表示を参考に濃度を確認してください。

注意 嘔吐物は想像以上に遠くまで飛び散っています!

- 床は広い範囲を消毒する。
→フローリングでは約3m
→カーペットでは約2m
- 可能ならば、処理後にシャワーを浴びる。
- 処理時とその後は、部屋の窓を大きく開けるなどして換気し、換気設備がある場合は必ず運転をする。
- 下痢をしている人がいるときは、トイレのドアノブも消毒する。

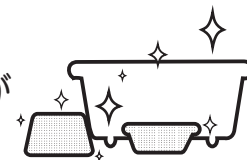
3.下痢をしている人がお風呂に入る場合

○入浴は一番最後にする。

○お風呂の湯につかる前には、お尻をよく洗い流す。

○お風呂の水は毎回換え、浴槽・床・洗面器・イス等も清潔に掃除をする。

○使ったタオルやバスタオルを他の家族が使わないようにする。



4.調理・食事で気をつけること

- 調理器具、シンク、ふきん、スポンジ等は消毒する。
→熱湯消毒…85℃で1分間以上
→0.02%次亜塩素酸ナトリウムで消毒

○生ものや和え物は避け、十分に加熱した食品のみとする。

